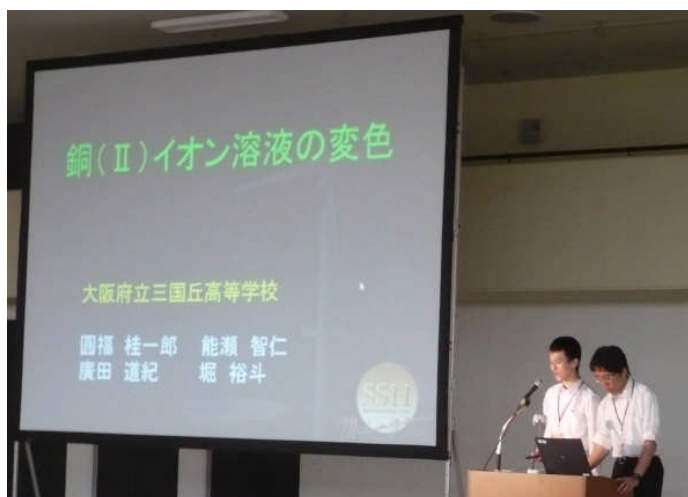


平成 2 3 年度

スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

平成 2 3 年度スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会が、神戸国際展示場において 2 日間の日程で開催され、本校からも、生徒が参加し、研究の成果を発表しました。

- (1) 日 時 8 月 1 1 日（水）～ 1 2 日（金）
- (2) 参加者 2 年生 4 名（理化部部員）、3 年生 2 名（課題研究選択生徒）
- (3) 内 容
 - ① ポスター発表
理化部「きれいな銅鏡の製作」の準備
 - ② 発表練習
口頭発表 「銅(Ⅱ)イオン溶液の変色」(課題研究選択生徒)
ポスター発表 「きれいな銅鏡の製作」(理化部生徒)
 - ③ 全体会（開会・講演）
講演 審良 静男 氏（大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長）
 - ④ 口頭発表
第 1 分科会会場（A 会場～C 会場） 第 2 分科会会場（D 会場～F 会場）
本校は A 会場 「銅(Ⅱ)イオン溶液の変色」(課題研究選択生徒)
1 5 分発表、質疑応答 1 0 分、講評 5 分。
 - ⑤ ポスター発表
 - ⑥ 口頭発表 代表校選出（A～C 会場からそれぞれ 1 校、計 3 校）
 - ⑦ 分科会代表校 3 校による口頭発表
 - ⑧ ポスター発表
 - ⑨ 全体会（講評・表彰・閉会）



口頭発表



ポスター発表

（４）成果

今年度は、残念ながら各種表彰の対象にはなりませんでした。が、本校生徒の研究内容は主催者からも評価され、現在その内容は、SSH のホームページ (<https://ssh.jst.go.jp/>) にも掲載されています。

また、発表後行った生徒へのアンケートの結果から、当初目的とした３つの項目

「他校の生徒の発表を聞くことで、科学技術に対する興味・関心を強める。」

「発表を行い、質疑応答をすることで、今後の研究における問題解決のヒントを得る。」

「発表を行うことで、プレゼンテーション能力を高める。」のすべてにおいて、達成された事が示されました。